ゼロウェイスト 力工営業計画

コンセプト

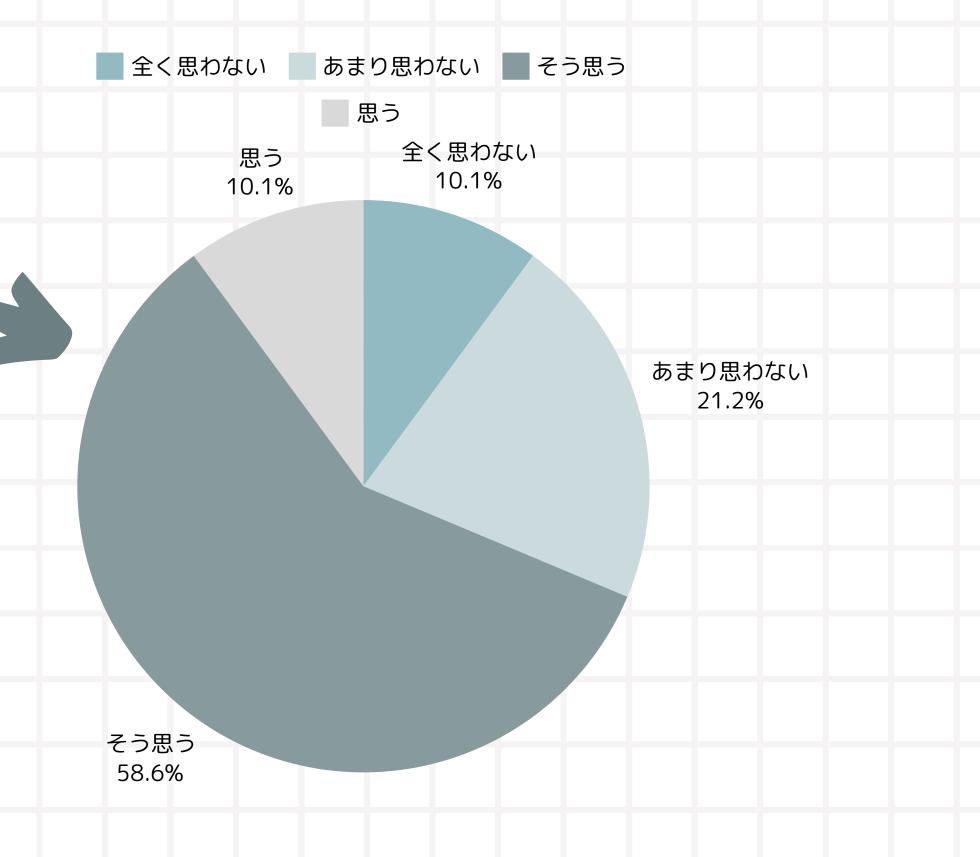
- ・ゼロウェイストを目指したカフェで、食品ロスを最小限に抑え、環 境に配慮した運営を行う。
- ・行動に踏み起こせない層に適切な情報を提供する。

ゼロウェイストとは 無駄や浪費をなくしゴミをそもそもださないようにするという取り組み

市場調査

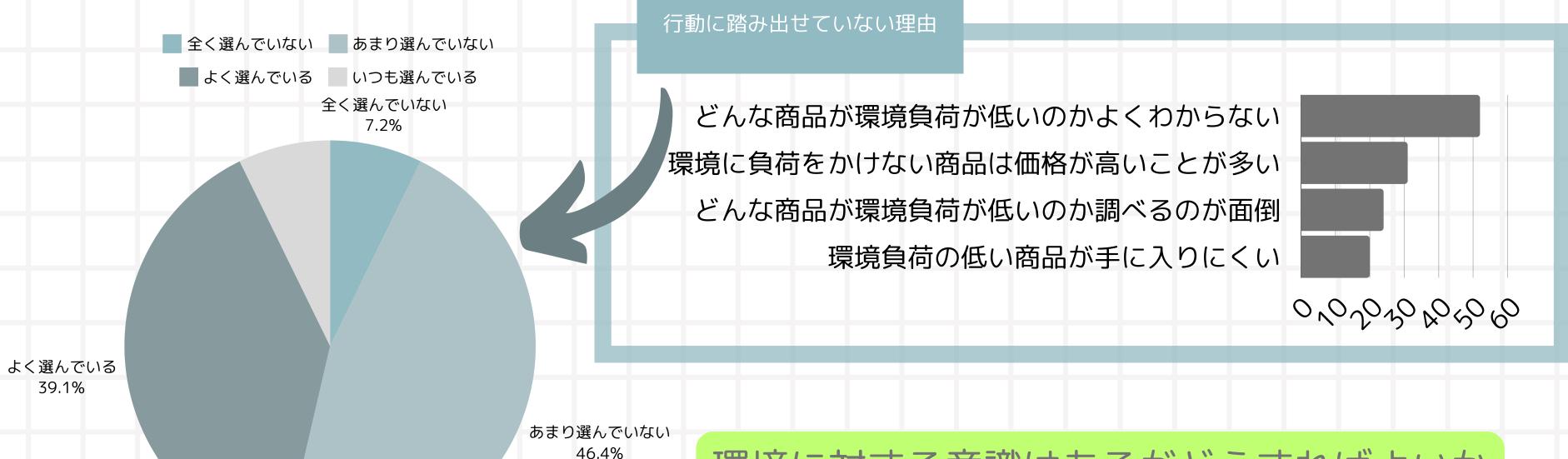
① 「環境に負荷をかけない 商品買いたい!

購入したいと考えている人は 半分以上いる!



ボストン コンサルティング グループ サステナブルな社会の実現に関する消費者意識調査(2023年1月調査)

(0) 2 環境負荷の少ない商品を選んでいる



環境に対する意識はあるがどうすればよいか わからない人が**50%**以上いる!

要件定義・ターゲット

誰に	何を	どうしてもらうか
地元の農家さん	自家製の野菜や果物をカフェで使用するために提供してもらう	・パートナーシップの構築・定期的に供給
主婦	カフェを利用してもらう	・特典やイベントの案内をしそれを通して来店を 促す・ワークショップ、食育イベントを開催し主婦層 の関心を引く
環境問題に興味はあるが、 行動に踏み出せていない層	カフェを利用してもらう	・実際の取り組みを見て食べて感じてもらうことで、行動を起こすきっかけを提供・イベントに参加してもらう

カフェが行っているリサイクル、廃棄物の削減、エネルギーの効率化などの取り組みを明確に示し、来店客に「**自分も貢献できる**」という感覚を与える

ペルソナ

基本情報

名前 佐藤由希

年齢 35歳

性別 女性

職業 パート

家族構成 夫(38歳)、子供(8歳、6歳)

住居: 田舎の住宅街

背景

- 地元の小さな町で育ち、現在もその地域に住んでいる。
- 環境問題や持続可能な生活について、SNSやニュースで情報を得ている。
- 忙しい子育てと仕事の合間で、環境への配慮が大切 だと感じているが、具体的に何を始めれば良いかわ からない。

価値観・考え方

- 食品ロスやプラスチック廃棄物に関する問題に特に関心がある。
- 自然や地元の農産物への愛着が強く、地元の環境を守りたいという気持 ちを持っている。
- スーパーでの買い物時、エコバッグを持参するが、プラスチック容器の 食品を選んでしまうことが多い。
- 子供の教育のために、エコな生活を意識したいと思っているが、実際の 行動に移せていない。
- 環境に優しい選択をするための具体的な方法を知りたいが、情報が多 すぎて混乱している。
- 手軽にできる環境保護の方法が欲しいが、時間や労力がかかることには 抵抗感がある。
- 地元のコミュニティでのつながりが薄く、同じ価値観を持つ人と交流したいと思っている。

SWOT分析

プラス要因

強み (Strength)

- 環境への配慮
- ゼロウェイストの実践
- 地域コミュニティとのつながり
- 地元の文化の反映

外部要因

内

要

大

機会(Opportunity)

- 環境意識への高まり
- 地域イベントへの参加

マイナス要因

「弱み (Weakness)

- ・認知度の低さ
- 限られたターゲット層
- 価格設定とコスト管理

脅威(Threat)

- 競合の増加
- 経済状況の変動
- 気候変動の影響
- 原材料価格の変動
- 消費者の興味の変化

ペイドメディアとその選択・その理由

01



SNS広告

広告を打ち出す時期

新事業立ち上げに伴うお店オープンにあわせて

理由

- 低関心層にお店の存在を知ってもらう
- 低コストで広告をだせるから
- 年代が若くなるにつれインターネットの利用率が高いから
- 営業コンセプトを伝えやすい

